

児童英語教育研究センター

Center for Teaching English to Children (CTEC)

vol. 14
AUG. 2020

Team Teaching 模擬練習会 実施

教員採用試験の二次対策として、前期末七月後半のお昼休み時間に、模擬練習会が開催されました。模擬練習会は、本学SALIC (Self-Access Learning Center) 教職課程・児童英語教員養成課程の教員が共同で運営しています。学生が、教員採用試験の本番に向けて、それぞれの課題や成果を得ることができるよう支援しています。

今回で四年目となるこの対策は、主に本学の教職課程または、児童英語教員養成課程を履修している、今年度の教員採用試験受験者の四年生を対象に、オンライン上で開催されました。実際の二次試験の形式で、即興で与えられた題材に応じて、ALIT (注1) とその場で打ち合わせをし、その他の参加者が生徒役となり、模擬授業を行う実践的なワークショップです。参加者は、他の学生参加者や教職員から与えられたフィードバックを受け、課題点を修正し、回を増すごとにスムーズに実施できるようになりました。

*注1.. 今回の対策講座では、ALTの経験を有するSALICまたはELLER (English Language Institute) 教員がALT役として、学生と Team Teaching を実施。

履修関連

「児童英語教育実習(沖縄)」 参加希望者

夏季休業中に確認・準備

7月8日(水)に、オンライン上でも説明会を実施いたしました。 「児童英語教育実習(沖縄)」へ参加を希望されている方は、応募締め切り日までに下記英語力の基準を満たしている必要があります。

- TOEFL®ITP 500点程度 / iBT 60点程度
- IELTS 5.5程度
- 英検 準1級
- *TOEICは認めない
- *スコアは2年以内取得のものに限る

未取得の方・期限が切れている方は、10月初旬頃までにスコアを取得できるよう余裕をもって勉強・受験のプランを立ててください。

応募方法をふまえた説明会は、後期授業開始後に実施します。詳細は、後日 Campus web を通じて、案内予定ですので、各自確認をしてください。

Let's sing a song! #2



A Sailor Went to Sea

幼児や児童を対象とした英語指導での、リズムの習得や英語らしい発音の習得に役立つ歌を紹介します。

A sailor went to sea, sea, sea,
To see what he could see, see, see,
But all what he could see, see, see,
Was the bottom of the deep blue
sea, sea, sea.

「海」を意味する **sea** も、「見る」という **see** も同じ発音 [si:] ですが、動作をつけながら歌うと意味の理解につながるでしょう。

【動作を入れて歌ってみよう！】

歌詞の下線部分を、2番には **chop** の動作、3番には **knee** ひざを両手でタッチし、最後は全て1回ずつ行う。

*2: chop 3: knee 4: all (see, chop, knee)

また、歌詞の中の **he** を **she** に置き換えて歌うと、**sea/see** と **she**、**s** [s] と **sh** [ʃ] の発音の違いを取り入れることができます。



[URL] <https://www.youtube.com/watch?v=O3MqCRfQnnc>

新学習指導要領紹介 #3

【外国語活動 ～英語～ 内容】

今年度より小学校中学年(3・4年生)より「外国語活動」が開始、高学年(5・6年生)は「外国語」が教科として導入されました。文部科学省より公表されている「学習指導要領」の内容の一部を数回にわけて、ご紹介いたします。第3回となる今回は、中学年「外国語活動(英語)」の内容です。

「外国語活動(英語)」では、「(1) 英語の特徴等に関する事項」、「(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項」、「(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項」の、3つの内容を扱うこととしています。今回は、そのうち(1)・(2)を以下に記します。

小学校中学年(3・4年生)の「外国語活動(英語)」の内容 (1)・(2)

知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	
(1) 英語の特徴等に関する事項		(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項	
実際に英語を用いた言語活動を通して、次の事項を体験的に身に付けることができるよう指導する。		具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどを表現することを通して、次の事項を身に付けることができるようにする。	
ア	言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知ること。	ア	自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら、伝え合うこと。 例) ・ 自分のこと ・ 学校の友達や教師 ・ 身の回りの物や自分が大切にしている物 ・ 学校や家庭での出来事
イ	日本と外国の言語や文化について理解すること。		
(ア)	英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。 例)日本語と英語の音声面の違い ミルク(3音節) - milk(1音節)	イ	身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちが伝わるよう、工夫して質問したり質問に答えたりすること。 例) ・ ゆっくり話す ・ 繰り返す ・ 動作を交える ・ いつ物を見せる
	(イ) 日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、多様な考えがあることに気付くこと。 例)「いただきます」に合致する表現がないこと		
	(ウ) 異なる文化をもつ人々との交流などを体験し、文化等に対する理解を深めること。 例)ALTや留学生、地域に住む外国人との交流		

「(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項」に関しては、次号以降でご紹介します。

参照:文部科学省(平成29年度3月)「小学校学習指導要領(平成29年告示)」https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/index.htm

8月 CTEC開室予定(2020年7月31日時点)

【閉鎖期間】 8月1日(土)～16日(日)

*教職員不在。17日(月)以降のお問い合わせをお願い致します。

【当面のCTEC利用に関して】

令和2年度前期期間中は下記の通り、変更致します。

- ① 来室、図書・物品の貸出原則中止
- ② 履修相談希望者
→右記メール宛てにお問い合わせください。

For more information

[TEL] 043-273-1579

[E-mail] ctec@ml.kuis.ac.jp

[URL] <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/labo/ctec/>



かき氷: shaved ice

編集: 佐々木